

第 1 期 安寧僧養成講座

—死別のケア 大切な人をなくした方と歩むために—

日頃から大切な人を喪った遺族と接する機会が多い僧侶ですが、意外なことに、多くの宗派の僧侶養成プログラムの中で死別のケアを学ぶ機会が用意されていません。そのため、遺族に対して配慮の欠ける対応をしてしまう僧侶や、どうしていいかわからないので遺族と接することを極力避ける僧侶の存在を耳にすることがあります。

葬儀や法事の場のみならず、僧侶と接することをもとめる遺族たちは、どうしたらよいか分からない不安を抱える中で、「心の安寧」を求めて訪ねてきているのではないのでしょうか。それを僧侶が不用意な言葉で遺族を傷つけ、不適切な接し方によって遺族を苦しめてしまうならば、本末転倒というものです。それが僧侶自身の「人徳のなさ」によるものではなく、ひとえに「知識の不足」によるものであれば尚のことでしょう。僧侶のもとへ来られる遺族たちに、できるかぎり心の安寧を得てもらうためのお手伝いをしてゆくためにも、僧侶の側がしっかりと死別のケアを学ぶことが求められています。

本講座では、継続的に死別のケアを学ぶことによって、本当の意味で人々の安寧に寄与することができる僧侶、いわゆる「安寧僧」を養成することを目的としています。東日本大震災以降、災害救援の現場に僧侶が支援に向かうことも増えており、こうした災害救援において、苦しむ被災者と伴走・伴歩できる「安寧僧」が育つことは大切なことでしょう。本講座の受講を端緒として、ゆくゆくは多くの僧侶がすでに開講されている臨床仏教師や臨床宗教師等を目指し、死別のケアだけにとどまらず、多様な「苦しみ」の臨床現場へ飛び込んでゆくきっかけとなれば幸いです。大勢の方のご参加をお待ちしています。

記

- 講師：尾角光美（一般社団法人 リヴオン代表）
- 日時：平成 28 年 6 月 21 日（火） 12：30～16：30
- 会場：真言宗泉涌寺派大本山 法楽寺（大阪市東住吉区山坂 1-18-30）
- 対象：全日仏青加盟団体会員
- 定員：40名
- 参加費：5,000円
- 申し込み：各加盟団体取りまとめの上、件名を「加盟団体名 第1期安寧僧養成講座申し込み」とし、氏名、住所、所属寺院、携帯電話番号、所属加盟団体名、懇親会参加不参加の情報を記し、裏面記載の全日仏青取りまとめ担当者までお送りください。準備の都合上6月7日（火）までご連絡いただくようお願い申し上げます。
- 主催：全日本仏教青年会（救援委員会）

○講師プロフィール

尾角光美（おかくてるみ）

一般社団法人リヴオン代表。「グリーフケアが当たり前にある社会の実現」を目指して活動している。自身、2003年19歳で母を自殺により亡くし、あしなが育英会で病気、災害、自殺、テロ等による国内外の遺児らのグリーフケアに携わる。2006年より全国の自治体、寺院、学校での講演、研修に呼ばれるようになる。2009年リヴオンを立ち上げ、母の日プロジェクト、自死遺児支援など活動をはじめ。寺院とNPOの協働を表彰する浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」にて、石川県のお寺における「グリーフサポート連続講座」が評価され「共生優秀賞」受賞。近著に『なくしたものとつながる生き方』（サンマーク出版）



【リヴオンHP】

<http://www.live-on.me/>



○タイムスケジュール（予定）

12:00 受付

12:30 - 13:20 死別のケアの基礎（講話）

13:20 - 13:30 休憩

13:30 - 14:30 ワーク①

14:30 - 14:40 休憩

14:40 - 15:40 ワーク②

15:40 - 16:25 全体共有

16:30 解散



※終了後に、講師を囲んでの懇親会を予定しております。

問い合わせ・参加申込み

全日本仏教青年会 救援委員会 取りまとめ担当 工藤 量導
携帯：090-1061-7222 Mail: kudoryodo@gmail.com